

第2学年 音楽科学習指導案

令和7年7月3日(木)第5校時(13:15～14:00)

荒川区立峡田小学校

第2学年2組 33名

研究主題 自分のよさや可能性に気付く子の育成

～受容的、肯定的な対話と友達との関わりを通して～

1 題材名「はくの まとまりを かんじとろう」

教材名「ミッキーマウス マーチ」ジミー・ドット作曲 / 「メヌエット」ベツォルト作曲

2 題材の目標

- (1) 曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。
- (2) リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を聴いたりする。
- (3) 拍子の違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組む。

3 学習指導要領との関連

A 表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ウ) (2)器楽イ(ア)、ウ(ウ) (3)音楽づくりア(ア)、イ(ア)、ウ(ア)

B 鑑賞 ア、イ

〔音楽を形作っている要素〕 ア リズム、旋律、拍

4 題材指導について

(1) 題材観

この題材では、1年生で身に付けた拍に対する感覚を基に学習を展開する。ここでは、2拍子と3拍子の違いを感じ取りやすい表現と鑑賞の教材が配置されている。それらの教材を生かして体を動かしながら歌ったり聴いたりする活動を通して、子供たちが2拍子と3拍子の違いや特徴を感じ得できるように学習を進めていく。

また、常時活動として「リズムあそび」を設け、友達とペアになってリズム打ちをしたり、みんなでリズム当てゲームをしたりして、楽しみながら拍に対する感覚を高め、拍子感を養うよう指導する。

(2) 教材観

教材「ミッキーマウス マーチ」の原曲は、アメリカの俳優、シンガーソングライターのジミー・ドット(1910～1964)の作品。アメリカの子供向けテレビ番組「ミッキーマウス クラブ」のテーマ曲だったが、現在ではディズニーのキャラクター「ミッキーマウス」のテーマ曲として広く知られている。「マーチ」と名が付く通り、2拍子の行進曲として書かれている。

教材「メヌエット」はドイツのオルガニストで作曲家のクリスティアン・ベツォルト(1677～1733)の作品。J.S.バッハが残した「アンナ マクダレーナ バッハのための音楽帳」の中に書き写されていたため、長い間 J.S.バッハの作品だと誤解されていた。「ラバース コンチェルト」の原曲としても知られている。「メヌエット」の名の通り3/4拍子の舞踊曲として作曲されている。

行進曲やメヌエットは、拍子と体の動きが密接に結びついており、曲想と拍のまとまりとの関わりに関心しやすく、また、2曲を比べて聴くことで曲調の違いを実感しやすい。身体運動を通して拍子と曲想のつながりに気づきやすい優れた比較教材と言える。

(3) 児童観

2年2組は音楽に興味をもち、音楽の見方考え方を意識しながら鑑賞できる児童が多い。6月上旬に学習した「いろいろな くにの おどりの 音楽を 楽しみましょう」では、世界の色々な国の踊りの音楽を、踊りの様子と音楽の感じの二つの観点に分けて指導した。その学習の中で、気付いたことを積極的にペアで話し合ったり、全体に共有したりする様子が見られた。その一方で、感じたことや考えたことを表現するための語彙は発達段階も含め、まだ不十分であった。

各教科の関連として、学級では担任が、国語科教科書「こくご 二上 たんぽぽ」(光村図書)の巻末にある「ことばのたからばこ」を活用し、自分の考えを様々な場面で表現できるように指導したり、生活科「めざせ！野さい作り名人」では、テーマを決めた理由や調べて考えたことまとめる際に、「ことばのたからばこ」の一覧表を見ながらワークシートにまとめるよう指導したりしている。児童が自分の気持ちに合う表現を吟味し、少しずつ語彙を増やしている。

本題材では、各教科の学習で「ことばのたからばこ」を用いることで語彙力が向上していることを踏まえ、そこから音楽科の学習に関連した語句を選別した。さらに実態に応じた音楽を形作っている要素を加えて「音楽のことばのたからばこ」を作成した。それを鑑賞の学習の手立てとすることで、児童が言葉を通して音楽をより深く味わえるようにしていきたい。

5 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①知識:曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ②技能:2拍子や3拍子の音楽の特徴を感じ取り、歌声やリズムで表す技能を身に付けている。【技能、身体表現、発言、ワークシート】	リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【身体表現、発言、ワークシート】	拍子の違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【身体表現、発言、ワークシート】

6 本題材とキャリア教育で育みたい力

◎ ☒自分で考え、気付く力…自分の考えのよさに気付くことができる。(低学年)
(自己理解・自己管理能力)

○ ☐友達等と関わり、学び合う力…友達のことを聞いて、自分の考えを広げることができる。(低学年)
(人間関係形成・社会形成能力)

今回の学習では特に、☒音楽に対する気づきや考えを、様々な言葉を使って表現することで、☐自己や他者の感性の良さや違いに気付くことをねらう。また他教科の学習でも活用できるような言葉を学び、教室と音楽室の両方から学習における言語活動を豊かなものにしていこう。

7 本題材の目標にせまるための手立て

手立て①言葉のたからばこの活用「音楽のことばのたからばこ」〈伝える〉

○自分の表現したいことを、相手によりわかりやすく伝えるために、国語科教科書の巻末にある「ことばのたからばこ」を音楽科用に選別した「音楽のことばのたからばこ」を活用する。(自分で考え、気付く力)

手立て②教師の発問、児童の発言をつなげる言葉がけの工夫〈受け止める〉

○発言した児童に対して、その児童のよさを伝え合えるように、クラス全員の児童に投げかけるような言葉がけや、肯定的、受容的な言葉を使う。(自分で考え、気付く力)

手立て③身体表現を用いた鑑賞

○2拍子や3拍子の音楽を身体表現をしながら鑑賞することで、その特徴を言葉以外の感覚もはたらかせて捉えられるようにする。

8 題材指導計画(全6時間 6/6)

次	時	♪「学習教材」 ○学習内容	◇指導上の留意点 ☆評価 ★見いだせる「キャリア教育で育みたい力」
第1次	1	♪「はしの上で」／2びょうしで リズムあそび ○曲想と2拍子のリズムや拍との関わりについて気付く。	◇「拍」と「拍子」と「リズム」の違いについて、体験を通して知覚させ理解させていく。 ☆曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付いているか。ア①知【発言、身体表現】 ☆思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っているか。ア②技【技能、身体表現】 ★ <u>自</u> 音楽に対する気づきや考えを、様々な言葉を使って表現する。
	2	♪「はしの上で」／2びょうしで リズムあそび ○2拍子を感じて、手遊びをしながら声を合わせて歌う。	
第2次	3	♪「たぬきの たいこ」／3びょうしで リズムあそび ○曲想と3拍子のリズムや拍との関わりについて気付く。	◇けんぱんハーモニカで学習した「かっこう」などと関連付けながら、比較的音楽体験の少ない3拍子を様々な方法で知覚させ、理解させる。 ☆曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付いているか。ア①知【発言、身体表現】 ☆思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っているか。ア②技【技能、身体表現】 ★ <u>自</u> 音楽に対する気づきや考えを、様々な言葉を使って表現する。
	4	♪「たぬきの たいこ」／3びょうしで リズムあそび ○3拍子を感じて、手遊びをしながら声を合わせて歌う。 ○3拍子の音楽の感じに合う歌い方を考える。 ○3拍子を感じながら、友達と声を合わせて歌う。	
第3次	5	♪「ミッキーマウス マーチ」／「メヌエット」 ○2拍子と3拍子の違いに気付く、それぞれの曲想をつかむ。	☆曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付いているか。ア①知【発言、身体表現、ワークシート】 ☆リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いているか。イ思【技能、身体表現、発言、ワークシート】 ☆拍子の違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしているか。ウ主【身体表現、発言、ワークシート】 ※この評価については第1時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。 ★ <u>自</u> 音楽に対する気づきや考えを、様々な言葉を使って表現することで、 <u>友</u> 自己や他者の感性の良さや違いに気付く。
	6 (本時)	♪「ミッキーマウス マーチ」／「メヌエット」 ○2拍子と3拍子の違いに気付く、それぞれの曲想をつかむ。 ○2拍子と3拍子の音楽の違いや面白さを感じ取りながら聴いたり、ワークシートに書いたりする。	

(1) 本時のねらい

2拍子と3拍子の音楽を聴いて、違いや面白さを感じ取る。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・児童の活動	◇指導上の留意点	☆評価 ★見いだせる「キャリア教育で育みたい力」
導入	○前回の学習した「ミッキーマウス マーチ」「メヌエット」を、身体表現をしながら鑑賞する。	◇前回、それぞれが2拍子の曲、3拍子の曲であったことを確認する。	
展開	・本時の学習のめあてを確認する 2びょうしと 3びょうしの ちがいに 気を つけて ききましょう。 ○2拍子と3拍子で、音楽の感じはどんな風に違うか考えて言葉で表現する。 ・「ミッキーマウス マーチ」を聴いて、近くの人と意見を交流し、ワークシート(1)に書く。その後意見を発表する。 ・「メヌエット」を聴いて、近くの人と意見を交流し、ワークシート(2)に書く。その後意見を発表する。 ○全体で意見を共有する。	◇「音楽のことばのたからばこ」を積極的に活用することを押さえる。 ◇意見交換ができない児童に声をかける。 ◇抽象的・曖昧な表現は問い返すなどして、感じ取ったことが共有できるようにする。 ◇2拍子と3拍子を意識して振り返られるよう発問する。	☆リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いているか。イ思【技能、身体表現、発言、ワークシート】 ☆拍子の違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしているか。ウ主【身体表現、発言、ワークシート】 ※この評価については第1時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。 ★☐音楽に対する気づきや考えを、様々な言葉を使って表現することで、☐自己や他者の感性の良さや違いに気付く。
まとめ	○学んだことをふまえて、自分のお気に入りの曲を選び、その理由をワークシート(3)に書いて、発表する。		

【板書計画】

めあて		音楽を形作っている要素
ミッキーマウスマーチ ・ ・ ・	メヌエット ・ ・ ・	

10 授業の視点

- ・「音楽のことばのたからばこ」は、児童の言語活動の支援に対して、有効にはたらいっているか。
- ・教師も児童も、肯定的、受容的に友達の話聞き合うことができているか。